

安 全 情 報

No 53 / 2017

野党支持者による追悼の夜間デモ・集会に関する注意喚起

野党連合 MUD は、これまでの抗議デモの参加中に亡くなった者を追悼するため、7月13日（木）午後5時頃、カラカス首都圏チャカオ市及びバルータ市において、夜間デモを呼びかけています。

追悼デモは夜間に行われるため、不測の事態も予測されることから、デモ・集合場所付近には、絶対に近づかないようにお願いします。

1 追悼デモの予定

7月13日（木）午後5時頃、チャカオ市アルタミラ広場に集合した後、

①アルタミラ広場→②フランシスコ・ファハルド高速道路アルタミラ出口→③ラ・カルロタ地区→④ラス・メルセデス地区→⑤カンポ・アレグレ地区を周り、再度、アルタミラ広場に戻る予定です。

2 注意事項

- (1) デモが始まれば、アルタミラ広場周辺のフランシスコ・デ・ミランダ通り、フランシスコ・ファハルド高速道路の主要道路の一部が閉鎖されると思われます。
- (2) デモ終了後、アルタミラ広場に集まったデモ隊に対し、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があります。
- (3) チャカオ市、バルータ市内においては、道路でゴミを燃やす等の事案が発生するおそれがあります。
- (4) 治安機関は、デモを制圧する際、催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件が発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇した場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。
- (5) 治安機関は、ビー玉状のものを弾頭として使用したスラッグ弾を、ショットガンから発射している可能性があります。このスラッグ弾が命中した場合、ビー玉が身体にめり込み、人を骨折させる程の威力があり、極めて危険です。
- (6) デモ隊の中には、通常の火炎瓶だけでなく、手製バズーカ砲の様なものを使用して、ロケット弾のように火炎瓶を遠距離まで飛ばす可能性があります。これは、完全装備の治安要員を負傷させる程の威力があり、極めて危険です。
- (7) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。